

4. こんにちは、助産院さん

仙台市泉区在住 今野馨子



拝啓

若葉の鮮やかな季節、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、この度、下記の場所におきまして産後入院・母乳育児相談『この助産院』を開院致しました。微力ではございますが、産後の母子の立場に立った支援をめざし、地域に根ざした助産師として、母子健康の向上に貢献できるよう、努力して参りたいと思っております。

この日を迎えることができましたことは、ひとえに皆様の温かいご支援の賜物でございます。心からお礼申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。まずは、略儀ながら書中をもちましてご挨拶申し上げます。

敬具

平成20年5月吉日



産後入院・母乳育児相談
この助産院
助産師 今野馨子
〒981-3103
仙台市泉区山の寺三丁目十番二十三号
Tel・Fax / 022 (373) 9920
E-mail / kokeikokko-0327@ezweb.ne.jp



5. 編集後記

今回、助産師会宮城県支部、及びみやぎ子育て・女性健康支援センターのホームページ作製に係わらせて頂きました。依頼した【祥和舎】さんに何回も足を運んで頂きました。「ホームページは団体の玄関です。ブログ機能を活用できるまで指導します」とおっしゃって頂きました。「ログイン」「ログアウト」「サーバー」「ドメイン」「サーバーアドレス」何のことやら。「それは何ですか」から始まりました。事務所（みやぎ子育て・女性健康支援センター）があってよかったと思う限りです。

まだ団体としてのバランスがとれていません。勤務部会、保健指導部会の情報が少ないです。会員の皆様には、アクセスして頂きご意見等お寄せ頂きたいと思っております。

最後に、ホームページが社団法人日本助産師会宮城県支部の繁栄につながることを願い編集後記とさせていただきます。

書記・機関紙担当 田村雪子



発行 社団法人日本助産師会宮城県支部
〒981-0911 仙台市青葉区台原 5-12-14
支部長 新田 みつ子
電話 FAX 022-272-6578
支部便り担当 田村雪子 松田美由紀
問い合わせや投稿は、090-2982-7235 田村雪子までお願いします。



社団法人日本助産師会

宮城県支部だより

紫陽花

平成20年3月吉日発行

発行 社団法人日本助産師会宮城県支部

〒981-0911

宮城県仙台市青葉区台原 5-12-14

目

次

1. ご挨拶
 - ・宮城県支部長 新田みつ子氏
2. 祝 ご受賞
 - ・日本助産師会会長表彰 新田双葉氏
 - ・宮城県看護の日表彰 青木喜美代氏

3. 宮城県支部総会報告
 - 平成19年度会計報告
 - 平成20年度事業計画
 - 平成20年度予算
 - 基調講演
4. 日本助産師会全国総会参加報告
 - ・平成20年宮城県代議員 田村雪子
 - ・3部門別勤務部会集會に参加して
 - 支部災害対策検討委員 伊藤範子
5. こんにちは、助産院さん 今野馨子
6. 編集後記

おしらせ

本部会館寄付金のご協力

ホームページの案内

・助産師会宮城県支部

・みやぎ子育て・女性健康支援

センター

1. 宮城県支部長 新田みつ子

梅雨の候、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

H20年度(社)日本助産師会通常総会が5月15・16日の両日札幌で開催されました。

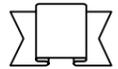
大きな混乱もなく総会が終了しました。また、17日には日本助産学会「試される助産師」のテーマのもと講演・シンポジウムが開催されました。助産師が一人ひとり自立(自律)した活動が報告されました。

助産師が今何をしなければならないか、北海道の大地に触れ勇気をいただけてきました。問題は山積していますが、会員一丸となり解決していきましょう。



H20 通常総会 札幌にて

2. 祝 ご受賞



日本助産師会会長表彰 新田双葉氏

当宮城県前支部長、現顧問の新田双葉氏は、平成20年日本助産師会会長賞を受賞なさいました。新田双葉氏は、全国の受賞者の代表として受賞のご挨拶をなさいました。

ご存知のように、長年教育部長として、また前支部長として公私ともどもご多忙のところ6年間職務を全うして頂きました。会員一同感謝致しております。

会場での受賞代表の挨拶を一部掲載させて頂き、ご受賞の報告とさせて頂きます。

おめでとうございます。



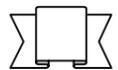
風薫る札幌の5月 冬から目覚めた植物が
一斉に花を咲かせ 自分の存在をアビ
ルしているかのように感じられる今日の佳
き日 栄えある会長賞を頂戴致しました
受賞者を代表しましてお礼の言葉を申し述
べてさせて頂きます

顧みずと現在までお元気で助産師職を
全うされた方 唯今なおお仕事に励んで
おられる方 またこれからも助産師職で
より一層知識と技術を高めて妊産婦子
供 その家族のために必要とされている
方
それぞれ助産師職に誇りを持って頑張つて
こられたと思います

最近の朗報としまして宮城県に於いてはま
やく4月から嘱託医師との連携問題が
一段落したと聞いています。
これも偏に日本助産師会という偉大な組
織が存在していたからこそと感謝申し上
げる次第です
最後になりますがご来賓の方々にはご多
忙の中へご臨席賜り励ましのお言葉を
頂戴し厚くお礼申し上げます

今後ともなお一層のご指導をお願い申し上
げお礼の言葉を申し上げます

一部抜粋



宮城県看護の日表彰 青木喜美代氏

宮城県看護の日表彰は、平成20年5月12日、宮城県庁会議室で行われ、当会仙台地区、理事の青木喜美代さんが、当会推薦で栄えある看護の日表彰を受賞なさいました。

青木喜美代氏は、東北大学病院附属助産師学校をご卒業後、病院勤務、その後仙台市妊産婦新生児訪問に長年従事しました。また、宮城県思春期電話相談など、地域に密着した母子保健活動が評価されたものです。また、義父母さまの介護体験を執筆し、ご講話なさいました。

現在は、みやぎ子育て・女性健康支援センターの電話相談員、育児教室指導員として、ご支援頂いております。

「新聞に載って、いっしょに仕事をしていた方からお祝いの言葉を頂戴しました。近所の方も喜んでくれます。夫はもちろん、東京に住む息子、娘たちもたいそう喜んでくれています。」と、おっしゃってありました。

おめでとうございます。



3. 宮城県支部総会報告

①平成19年度会計報告

収入の部

(単位 円)

科 目	予算額(a)	決算額(b)	差異 (b - a)	摘 要
支部会費収入	589,500	661,500	72,000	4,500円×147人
宮城県委託事業収入	110,000	49,140	Δ 60,860	研修会一回
研修会資料代収入	50,000	30,000	Δ 20,000	
胎盤事業収入	120,000	247,425	127,425	
雑 収 入	9,630	55,402	45,772	周産期セミナー高橋克幸氏5万寄付
当期収入小計 [A]	879,130	1,043,467	164,337	
前期繰越額	1,405,236	1,405,236	0	
収入合計 [B]	2,284,366	2,448,703	164,337	

支出の部

(単位 円)

科 目	予算額(a)	決算額(b)	差異 (b - a)	摘 要
全国総会関連費	140,000	130,000	Δ 10,000	支部長・代議員参加費 平成20年全国総会準備金20,000円
支部総会開催費	40,000	44,539	4,539	会場費・講師謝礼
東北ブロック研修会 参加費	10,000	10,000	0	
研修会開催費	130,000	63,222	Δ 66,778	県委託研修会会場費・講師謝礼・資料代
会 議 費	146,400	147,544	1,144	役員会交通費・会場費
会費管理費	5,000	5,580	580	本部への払込手数料・会費管理に関わる通信費
事 務 費	30,000	32,164	2,164	事務用品費
看護の日参加費	4,500	8,000	3,500	係り弁当代
通 信 費	95,000	94,984	Δ 16	郵送費(総会、研修会、役員会の案内・機関紙など) 支部長通信費20,000円
機関紙発行費	40,000	39,321	Δ 679	3回発行 紙・インク代
支援センター事業費	180,000	180,000	0	
関連団体負担金	30,000	13,210	Δ 16,790	各女連 性教育協議会
慶 弔 費	20,000	0	Δ 20,000	
雑 費	60	0	Δ 60	
予 備 費	8,170	83,013	74,843	胎盤用冷蔵庫代68,250円
当期支出合計 [C]	879,130	851,577	Δ 27,553	
当期収支差額 [A] - [C]	0	191,890		
繰越収支差額 [B] - [C]	1,405,236	1,597,126		
次年度へ繰越額		¥ 1,597,126		

決算

収入合計 [B]	支出合計 [C]	差異 [B-C]	
2,448,703	851,577	1,597,126	次年度へ繰越 [D]

現金預金残	2,246,186	預かり金 差引き	30,000
前払費用分 加算	16,800	会費前受分 差引き	685,000
未収入金分 加算	49,140	[D]	¥ 1,597,126

②平成20年度事業計画

1. 運営に関する事業

- | | |
|---------------------------|--------|
| (1) 社団法人日本助産師会総会 | 年1回 |
| (2) 社団法人日本助産師会宮城県支部総会 | 年1回 |
| (3) 社団法人日本助産師会宮城県支部理事会 | 年1回 |
| (4) 社団法人日本助産師会宮城県支部役員会 | 年1回 |
| (5) 社団法人日本助産師会宮城県機関紙発行 | 年3回 |
| (6) 胎盤事業に関する委員会 | 必要に応じて |
| (7) みやぎ子育て・女性健康支援センター事業助成 | |

2. 教育に関する事業計画

項目	月日	備考
(1) 社団法人日本助産師宮城県支部 研修会 ① <u>「新生児蘇生法 NCPR」</u> 講師：新生児認定看護師 大川直子氏 新生児蘇生法専門 コースインストラクター ※別案内あり ②今後検討	<u>8月 10日(日)</u> 13:00 ～ 15:00	
(2) 宮城県看護協会主催「看護の日」参加	5月17日(土)	
(3) 協賛事業 ○ 日本助産師会 北海道・東北ブロック研修会	日時略	支部長 他
○ 日本助産師会 3部門別研修会	日時略	支部長 他
○ 宮城県周産期・ 小児医療協議会周産期医療部会	日時略	支部長 他
○ 宮城県性教育推進協議会理事会 ○ 宮城県性教育推進研修会	日時略	書記 希望者
○ 男女共同参画推進事業 宮城県各種女性団体連絡協議会	日時略	理事2名 他
○ 宮城県母性衛生学会	日時略	希望者
○ 宮城県小児保健研修会	日時略	青木理事 他

③平成20年度予算

収入の部

(単位 円)

科 目	H19決算額(a)	H20予算額 (b)	差異 (b - a)	摘 要
支 部 会 費 収 入	661,500	750,000	88,500	5000円×150人
宮城県委託事業収入	49,140	0	Δ 49,140	
研修会資料代収入	30,000	50,000	20,000	
胎 盤 事 業 収 入	247,425	300,000	52,575	
雑 収 入	55,402	50,000	Δ 5,402	
当期収入小計 [A]	1,043,467	1,150,000	106,533	
前期繰越収支差額	1,405,236	1,597,126		
収入合計 [B]	2,448,703	2,747,126	298,423	

支出の部

(単位 円)

科 目	H19決算額(a)	H20予算額 (b)	差異 (b - a)	摘 要
全国総会関連費	130,000	160,000	30,000	派遣費50000円×3人分 支部負担金10000円
支部総会開催費	44,539	70,000	25,461	会場費・講師謝礼・資料作成代・弁当代
東北ブロック研修会参加費	10,000	10,000	0	支部負担金10000円
研修会開催費	63,222	100,000	36,778	会場費・講師謝礼・資料代
会 議 費	147,544	150,000	2,456	役員会交通費・会場費・部会費
会 費 管 理 費	5,580	7,000	1,420	本部への払込手数料 会費管理に関わる通信費
事 務 費	32,164	35,000	2,836	事務用品費
看護の日参加費	8,000	8,000	0	係り交通費・弁当代
通 信 費	94,984	100,000	5,016	郵送費(総会、研修会、役員会の案内・機 関紙など) 支部長通信費20,000円
機 関 紙 発 行 費	39,321	40,000	679	3回発行 紙・インク代
支援センター事業費	180,000	230,000	50,000	移転準備費用含む
関連団体負担金	13,210	20,000	6,790	各女連 性教育協議会
ホームページ作成関連費		150,000	150,000	
慶 弔 費	0	20,000	20,000	
雑 費	0	20,000	20,000	
予 備 費	83,013	30,000	Δ 53,013	
当期支出合計 [C]	851,577	1,150,000	298,423	
当期収支差額 [A] - [C]	191,890	0		
次期繰越収支差額 [B] - [C]	1,597,126	1,597,126		

④ 基調講演

基調講演は、「新生児・乳児期における救急処置の基礎知識」と題し、利府町のたかだこども医院 院長 高田修先生にご講演をお願いしました。

子どもの死因0歳は、先天奇形および染色体異常、そして1歳からは不慮の事故が1位です。何年前か前、看護学校厚生指標で学んだことを改めて実感しました。

乳幼児突然死症候群(SIDS)は、生後4カ月にピーク、そして半年までに80%の発症率、1歳以下は10%以下と。

全容をパワーポイントでご講義して頂いた後、心配蘇生法の実習をして下さいました。日ごろの研修では見られない会員の嬉々とした表情をご覧下さい。

写真に写っている救急蘇生演習機材は、ご自身で備えていらっしゃると思います。保護者のための研修をしていらっしゃるとう聞きしました。

もしかして、育児教室を開催している方、また市町村で係わっていらっしゃる方は、機材をお持ちになって、来ていただけるかもしれません。お願いして下さい。

ご連絡先は、『小児科 たかだこども医院 022-767-6555』

ホームページ

<http://homepage2.nifty.com/takada-kodomo/>

(たかだこども医院で検索してもすぐわかります)

—文責 田村雪子—



感想 (アンケートより)

- ・ 楽しく学べました。
- ・ 実習が入って分りやすかった。
- ・ 先生のお人柄がしのばれました。
- ・ このような研修をまたして下さい
- ・ 若い人が頑張っていて、気持ちよく思いました。
- ・ 役員の方も、ご苦労様でした。
- ・ 今年も頑張りましょう。
- ・ 子どもが小さかったら、高田先生にお世話になりたかった。
- ・ ありがとうございます。

お知らせ

平成 21 年度日本助産師会通常総会

平成 21 年 5 月 28 日(木)



平成 21 年 5 月 30 日(土)

奈良県新公会堂

平成 20 年日本助産師会

北海道・東北ブロック大会

平成 20 年 9 月 20 日(土)



平成 20 年 9 月 20 日(土)

○ 秋田です。ご案内同封

4. 日本助産師会全国総会参加報告

平成20年宮城県代議員

宮城県支部書記

田村 雪子



平成20年度日本助産師会総会及び助産学会に5月16・17日、北海道の札幌に行って参りました。宮城県支部からは、支部長はじめ4名の参加でした。でした。支部長は前日の理事会からの出席です。日程をお聞きし、支部長をお受け頂き、その上にこのようなハードスケジュールを毎年過ごしてらしたと思うと、蓮台の支部長には感謝申し上げる次第です。

第です。

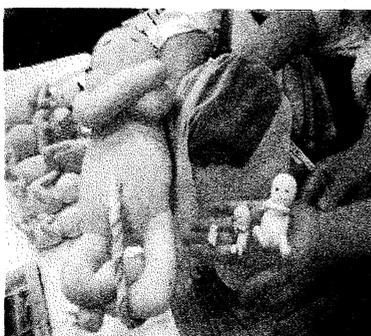
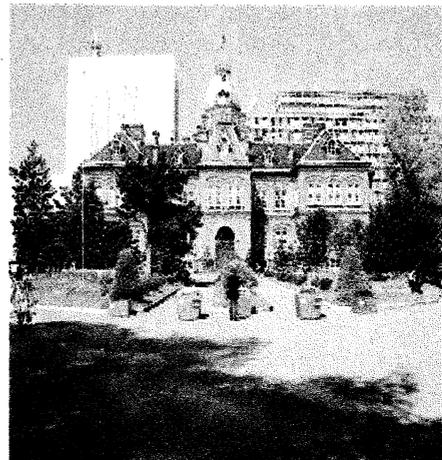
また、今年、宮城県支部長新田みつ子氏は、総会議長をなさいました。さすが宮城県！難題をすっきりとまとめられ、宮城県支部会員として自慢して参りました。大きな会場で小さなデジカメしか持参しなかったことを反省しています。

前日、千歳空港に降りたとき、整然としている町並みが驚き、札幌についてからは紫のリラの花に癒されました。

総会会場は東札幌のコンベンションセンターでした。立派な施設でしたが、札幌周辺に宿泊していた私どもには、ちょっと遠くて大変でした。

宮城県支部からは、支部長はじめ4名の参加でした。

総会の議事は、事業報告、決算報告、平成20年度事業計画、平成20年度予算と続き、承認されました。その他では、例年通り元気な開業助産師の嘱託医関連の問題提起、妊婦健診票の取り扱いに関する問題、子育て・女性健康支援センターに関することなど活発に議論がされました。詳細は、助産師会機関紙「助産師」に掲載されますので、ここでは割愛します。



北海道支部の性教育教材です。
ご許可を頂いて撮影しました。
どなたか作って頂けませんか。

日本助産師会通常総会 3 部門別勤務部会集會に参加して

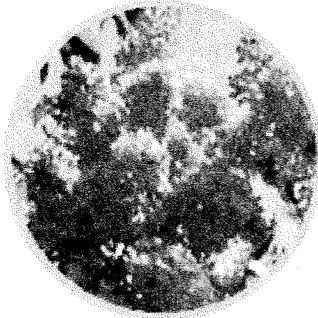
NTT 東北病院

(社)日本助産師会宮城県支部災害対策検討委員

伊 藤 範 子

東京支部の黒川勤務助産部会長の挨拶。

- ・助産所、勤務助産師の連絡網は支部と本部の要で、情報交換、情報提供各県の問題への助言に活かせる。
- ・助産所開設希望者は支部を通して本部へ連絡を。
- ・県単位の本部もとりこみ、地区ごとの研修に本部も協力します。



集會内容は、テーマ「新人助産師をどう育てるか」で、成田伸先生（自治医大看護学部）は「現代の学生の特徴、教育内容臨床に望むこと」について

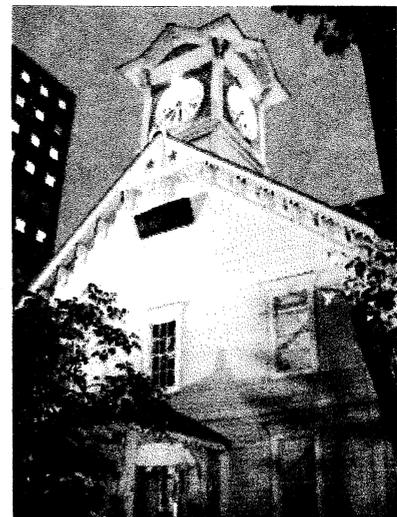
- ・教育キュラム変遷、現在は助産師監督下で原則＜正期産一経膈分娩一頭位一単胎＞学生一人 10 回の助産経験が必要。
- ・いまどきの学生は打たれ弱い、コミュニケーションスキルが弱い
- ・教育＜養成所、短大、大学の選択コース、専攻科＞、卒後教育＜大学院、認定＞と様々

- ・臨床に望むことは、妊産婦ケアにかかわれる環境。教育方法が多様化されており、それに合わせた育成を。個々に合わせた新人教育、新人の成長を見守る姿勢。

増永恵子先生（杏林大学医学部付属病院）が「新人助産師の受け入れと現状、学生教育に望むこと」について

- ・新人助産師を取り巻く環境。現状は看護業務の複雑・多様化に、タイムプレッシャー、医療安全開化と業務責任の増大、リアリティショック、接遇不足。多重課題、時間切迫、業務中断による医療事故。
- ・抑うつ症状、うつ病発症の割合増加
- ・現在は、5年目で一人前とし3ヶ月、1年目と到達目標に向けて育成。
- ・現場では大切にしている。＜定時に帰す。調べること等の宿題を出さない＞
- ・教育現場に望むことは、社会人として、人としてどうあるべきか、助産師観をしっかり身に付けさせて欲しい等の内容で講演されました。

その後各現場での新人育成状況について 30 分程度のグループワーク、意見交換を実施しました。新卒のみでなく、中途採用者の多い職場のグループであったので、希望した職場配置でない等で離職する、又は2～3年目の人がレベルアップを希望して転職していく傾向が多い事が問題とされていた。約2時間の集會でした。





本部会館寄付金について

完納と言う表現が如何なものか、総会で執行部が使っていました。「完納した支部が複数あります。ご協力下さい」と。

他支部、当支部代議員も、「寄付金は強制ではないはず、完納を強要するのはおかしい」と発言しました。

ですが、全会員完納の収支決算で会館を取得し、総会で承認を受けています。当支部でも無利子で高額を貸与している会員さんがいます。この方々への支払いが難しくなるとの事でした。

助産師会は、助産師の自立、自律へ向けて、全国ネットでの連携になくはならないものです。

ご寄付のご協力に感謝致すと共に、今後とも皆様のご協力をお願いします。

本部会館ご寄付のお願い

- おひとり 30,000円
- 期限→今後 2年以内
- ご協力方法
同封の支部郵便振替用紙で、各位様のご都合に合わせて、ご協力下さい。

ホームページアドレスのご案内

運用できるようになりました。まだ試運転の状態です。3部門別の情報に偏りが見えます。また、継続へ向けての予算組みもまだしておりません。会員の皆様にはぜひアクセスして頂き、より良いご運用へ向けてご意見等お寄せ下さい。

助産師会HPアドレス

<http://midwife-miyagi.sakura.ne.jp/>

みやぎ子育て・女性健康支援センターHPアドレス

<http://woman-assist.sakura.ne.jp/>

siensenter@gmail.com

自律した助産師を目指して

少産・少子時代を迎え、産科医・小児科医の減少、育児不安や子どもへの虐待などが大きな社会問題となっている現在、我々助産師への期待が高まっています。

今回『自律した助産師を目指して』をテーマに、現状の中で助産師が主体的に助産師活動を行う為には何が必要か、また性と生殖に関するエキスパートとしてどのような支援を目指すべきか、参加者の皆様とともに考える場にしたいと思います。

共催： (社)日本助産師会 日本助産師会秋田県支部

期日： 平成20年9月20日(土)～21日(日)

会場： 秋田県総合保健センター 大会議室 (秋田県秋田市千秋久保田町6-6)

参加費： 会員 8000円 非会員 10000円 (1日参加費 5000円)

学生 3000円 (1日参加費1500円) 昼食 1日1000円 (宿泊・懇親会別途)

懇親会： 秋田ビューホテル 大宴会場 飛翔の間 (秋田県秋田市中通2丁目6-1) 18時～

お申し込み・お問い合わせ先

①研修会参加・昼食・懇親会について

〒010-0065 秋田県秋田市茨島2丁目3-52 「ゆみっこ助産院」内

(社)日本助産師会 秋田県支部 研修会準備委員長 古田 由美子

TEL&FAX: 018-867-2795 E-mail: yumikko@cna.ne.jp

②宿泊について

〒010-0921 秋田県秋田市大町3丁目2-6

(株)JTB東北 秋田支店 担当:菅原 井上

TEL: 018-862-6193 FAX: 018-865-5189

E-mail: y_sugawara595@jtb.jp

※ 研修会開催時、秋田駅周辺の施設にていくつかの学会・集会が予定されています。

宿泊の確保が困難な状況が予測されます。お早めのお申し込みをおすすめします。

9月20日(土)						
9:30	10:00	10:20~11:20		11:30~12:30		13:30~16:30
受付	開講式	日本助産師会会長 近藤 潤子	休憩	子育て支援センター報告 各県代表者発表	昼食	参加型マタニティクラスの運営 JACE 日本出産教育協会代表 バースエドゥケーター 戸田律子

9月21日(日)						
9:00	9:30~12:30			13:30~15:30		15:45~16:15
受付	シンポジウム 『今、助産師に何が求められているか』 基調講演：岡本喜代子 行政の立場から 産科医の立場から 助産師の立場から 母親の立場から			昼食	今後の性教育のあり方 (社)日本家族計画協会 クリニック所長 北村邦夫	休憩 閉講式 修了証書授与

(講師敬称略)